





基本的なコール処理



一連の機能とサービスを使用して、基本的なコール処理を実行できます。機能の Availability はそれぞれ異なる可能性がありますので、詳細についてはシステム管理者に確認してください。

コールの発信：基本的なオプション

ここでは、Cisco Unified IP Phone でコールを発信する簡単な方法をいくつか示します。




目的	操作または状態の説明	詳細の参照先
ハンドセットを使用してコールを発信する	ハンドセットを取り上げ、番号を入力します。	電話機の概要 (P.8)
スピーカフォンを使用してコールを発信する	 を押して、番号を入力します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.54)
ヘッドセットを使用してコールを発信する	 を押して、番号を入力します。または、  が点灯している場合は、 [発信] を押して、番号を入力します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.54)
番号をリダイヤルする	[リダイヤル] を押して最後の番号をダイヤルするか、ナビゲーション ボタンを押して (電話がアイドルの状態)、 [発信履歴] を表示します。	履歴の使用 (P.60)
別のコールがアクティブなときにコールを発信する (同じ回線を使用)	<ol style="list-style-type: none"> [保留] を押します。 [発信] を押します。 番号を入力します。 	コールの保留と復帰 (P.25)
履歴からダイヤルする	<ol style="list-style-type: none">  > [不在履歴]、[着信履歴]、または [発信履歴] を選択します。 タッチスクリーン上のリストを押します。 	履歴の使用 (P.60)


ヒント

- ダイヤルトーンを聞かずにオンフックでダイヤルすることができます（プレダイヤル）。プレダイヤルするには、番号を入力してからオフフックにします。オフフックにするには、ハンドセットを取り上げるか、タッチスクリーンで番号を押すか、あるいは [ダイヤル]、、または  を押します。
- プレダイヤルすると、電話機は発信履歴ログから一致する番号（ある場合）を表示して、ダイヤルしている番号を予測しようとします。これは、自動ダイヤルと呼ばれます。自動ダイヤルで表示された番号に発信するには、その番号を押すか、その番号までスクロールしてオフフックにします。
- ダイヤル中に間違えた場合は、<<を押して番号を消去します。
- コールの発信者と受信者にビーブ音が聞こえる場合は、そのコールが監視または記録されている可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

コールの発信：追加オプション

電話機で利用できる特別な機能とサービスを使用して、コールを発信できます。これらの追加オプションの詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

目的	操作または状態の説明	詳細の参照先
別のコールがアクティブなときにコールを発信する(別の回線を使用)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新しい回線の  を押します。最初のコールが自動的に保留状態になります。 2. 番号を入力します。 	コールの保留と復帰 (P.25)
短縮ダイヤルを使用する	<p>次のいずれかの操作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> •  (短縮ダイヤル ボタン) を押します。 • 固定短縮ダイヤル機能を使用します。 • ファーストダイヤル機能を使用します。 	短縮ダイヤル (P.38)
電話機の社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [社内ディレクトリ] を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. 名前を入力し、[検索] を押します。 3. リストの項目を強調表示して、オフフックにします。 	履歴の使用 (P.60)
Cisco WebDialer を使用して、パーソナルコンピュータの社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1. Web ブラウザを起動して、WebDialer 対応の社内ディレクトリのページへ移動します。 2. ダイヤルする番号をクリックします。 	Cisco WebDialer の使用 (P.81)
Cisco CallBack を使用して、話し中または呼び出し中の内線が応対可能になったときに通知を受信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジー音または呼出音が聞こえているときに [折返し] を押します。 2. 切断します。回線が空くと、電話機によって通知されます。 3. コールを再発信します。 	システム管理者
短縮ダイヤル、履歴、またはディレクトリリストと関連付けられた回線が使用中であるかどうかを、その回線へのコールを発信する前に確認する	ビジー ランプ フィールドのインジケータを確認します。	BLF の使用による回線の状態の確認 (P.47)

目的	操作または状態の説明	詳細の参照先
プライオリティ (Precedence) コールをかける (SCCP 電話機のみ)	MLPP アクセス番号を入力してから、電話番号を入力します。	重要なコールの優先順位付け (P.50)
個人アドレス帳 (PAB) のエントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="403 305 919 370">1.  > [パーソナルディレクトリ] を選択してログインします。 <li data-bbox="403 378 919 443">2. [個人アドレス帳] を選択し、リストを検索します。 	電話機でのパーソナルディレクトリの使用 (P.65)
課金コードまたはトラッキングコードを使用して発信する (SCCP 電話機のみ)	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="403 457 919 490">1. 番号をダイヤルします。 <li data-bbox="403 498 919 597">2. トーンの後、Client Matter Code (CMC; クライアントマターコード) または Forced Authorization Code (FAC) を入力します。 	システム管理者
Cisco エクステンション モビリティ プロファイルを使用してコールを発信する	電話機で Cisco エクステンション モビリティ サービスにログインします。	Cisco エクステンション モビリティの使用 (P.51)
モバイル ボイス アクセスを使用して携帯電話からコールを発信する	<p data-bbox="403 725 919 790">ユーザに割り当てられているモバイル ボイス アクセスの番号にダイヤルします。</p> <p data-bbox="403 799 919 880">携帯電話の番号 (要求された場合) と PIN を入力します。</p> <p data-bbox="403 888 919 969">1 を押して会社の IP Phone にコールを発信します。</p> <p data-bbox="403 977 919 1058">ユーザのデスクトップの電話番号以外のデスクトップの電話番号にダイヤルします。</p>	1 つの電話番号を使用したビジネス コールの管理 (P.52)







ヒント

モバイル ボイス アクセスでコールを発信する前に、システム管理者から次の情報を入手してください。

- モバイル ボイス アクセスの番号
- エンドユーザの PIN

コールへの応答

コールに応答するには、ハンドセットを取り上げるか、電話機で利用できるその他のオプションを使用します。

目的	操作または状態の説明	詳細の参照先
ヘッドセットで応答する	 が点灯していない場合は押します。または、  が点灯している場合は、 [応答] または  (点滅) を押します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.54)
スピーカフォンで応答する	 、 [応答] 、または  (点滅) を押します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.54)
接続コールから切り替えて新しいコールに応答する	[応答] を押すか、別の回線でコールの呼出音が鳴っている場合は、  (点滅) を押します。	コールの保留と復帰 (P.25)
コール待機を使用して応答する	[応答] を押します。	コールの保留と復帰 (P.25)
ボイス メッセージ システムにコールを送信する	[即転送] を押します。	ボイス メッセージ システムへのコールの送信 (P.30)
コールに自動的に接続する	自動応答を使用します。	自動応答の使用 (P.56)
別の電話機でパークされたコールを取得する	コール パークまたはダイレクト コール パークを使用します。	パークされているコールの保存と取得 (P.41)
電話機を使用して、別の場所で鳴っているコールに応答する	コール ピックアップを使用します。	自分の電話機にリダイレクトされたコールへの応答 (P.40)
プライオリティ (Precedence) コールに応答する (SCCP 電話機のみ)	現在のコールを切断して [応答] を押します。	重要なコールの優先順位付け (P.50)



目的	操作または状態の説明	詳細の参照先
携帯電話または他のリモート接続先でコールに应答する	<p>モバイル コネクトを設定して電話に应答します。</p> <p>モバイル コネクトを有効にすると次のようになります。</p> <p>デスクトップとリモート接続先でコールを同時に受信します。</p> <p>デスクトップの電話でコールに应答すると、リモート接続先の電話の呼出音が止まってコールが切断され、不在履歴メッセージが表示されます。</p> <p>リモート接続先でコールに应答すると、それ以外のリモート接続先では呼出音が止まってコールが切断され、これらの電話には不在履歴メッセージが表示されます。</p>	1つの電話番号を使用したビジネス コールの管理 (P.52)

ヒント



コールの発信者と受信者にビープ音が聞こえる場合は、そのコールが監視または記録されている可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

コールの終了

コールを終了するには、切断します。ここでは、さらに詳細を示します。



目的	操作または状態の説明
ハンドセットを使用しているときに切断する	ハンドセットを受け台に戻します。または [終了] を押します。
ヘッドセットを使用しているときに切断する	 を押します。または、ヘッドセット モードをアクティブにしておくには、 [終了] を押します。
スピーカフォンを使用しているときに切断する	 または [終了] を押します。
複数のコールがある場合に1つのコールだけを切断する	[終了] を押します。必要に応じて、コールの保留を解除しておきます。



コールの保留と復帰

コールを保留して復帰することができます。コールを保留にすると、保留アイコンが発信者 ID のとりに表示され、対応する回線ボタンが緑に点滅します。

電話機で保留復帰機能を有効にすると、保留にしたコールは、一定の時間経過後、電話機で呼出音が再び鳴るようになります。このような「復帰」コールは、保留解除されるまでは保留状態が継続されます。

復帰コールがある場合、電話機の次のようなアクションによって示されます。

- 一定の間隔を置いて呼出音（点滅やビープ音など。ユーザの電話回線の設定によって異なる）を 1 回鳴らして警告する
- 電話スクリーン下部のステータス バーに「保留復帰」という短いメッセージを表示する
- 保留状態のコールの発信者 ID のとりに保留復帰アイコンの動画を表示する
- 点滅するオレンジの回線ボタン（回線の状態によって異なる）を表示する



目的	操作または状態の説明
コールを保留にする	<ol style="list-style-type: none"> 1. 該当するコールが強調表示されていることを確認します。 2. [保留] を押します。
現在の回線にあるコールの保留を解除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 該当するコールが強調表示されていることを確認します。 2. [復帰] を押します。
別の回線にあるコールの保留を解除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 該当する回線ボタンまたは（点滅）を押します。これを行うと、保留状態のコールが自動的に復帰する場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> • 回線に復帰コールが 1 つある場合、このコールは保留解除されます。 • 回線に復帰コールが複数ある場合、最も古い復帰コールが保留解除されます。 • 回線に復帰していないコールしか存在しない場合、このコールが保留解除されます。 2. 必要に応じて、該当するコールをスクロールし、[復帰] を押します。

ヒント

- コールが保留状態になっているとき、通常は音楽やビープ音が流れます。
- 着信コールと復帰コールを同時に受信しているという警告を受けると、デフォルトでは、ユーザの電話機は着信コールの表示に電話機スクリーンのフォーカスを移します。システム管理者はこのフォーカス優先度の設定を変更することができます。
- 共有回線を使用している場合、コールを保留する電話機でのみ保留復帰の呼出音が鳴り、この回線を共有する他の電話機では鳴りません。
- 保留復帰の警告が発生する間隔は、システム管理者が決定します。



ミュートの使用

ミュートが有効な場合、コールの通信相手からの音声は聞こえますが、自分からの音声は通信相手に聞こえません。ミュートは、ハンドセット、スピーカフォン、またはヘッドセットで使用できます。

目的	操作または状態の説明
マイクフォンをオンにする	 を押します。
マイクフォンをオフにする	 を押します。


複数のコール間での切り替え

1本または複数の回線で複数のコールを切り替えることができます。切り替え先のコールが自動的に強調表示されない場合は、タッチスクリーンで該当するコールを押すか、そのコールまでスクロールします。

目的	操作または状態の説明
同じ回線で接続されたコール間で切り替える	<ol style="list-style-type: none">切り替え先のコールが強調表示されていることを確認します。【復帰】を押します。 アクティブなコールが保留になり、選択したコールが復帰します。
異なる回線で接続されたコール間で切り替える	切り替え先の回線の  を押します。 回線で保留になっているコールが1つの場合、コールは自動的に復帰します。複数のコールが保留になっている場合は、該当するコールを強調表示し、【復帰】を押します。
接続コールから切り替えて呼び出し中のコールに応答する	【応答】を押すか、別の回線でコールの呼出音が鳴っている場合は、  (点滅) を押します。アクティブなコールが保留になり、選択したコールが復帰します。

進行中のコールの他の電話機への切り替え

進行中のコールは、デスクトップの電話機と、携帯電話または他のリモート接続先の電話機との間で切り替えることができます。

目的	操作または状態の説明
進行中のコールをデスクトップの電話機から携帯電話に切り替える	<ol style="list-style-type: none"> 1. [モビリティ] ソフトキーを押し、[携帯電話へコールを送信] を選択します。 2. ユーザの携帯電話で進行中のコールに応答します。 デスクトップの電話回線ボタンが赤  に変わり、ハンドセットアイコンと発信者の番号が電話機に表示されます。他のコールに同じ電話回線を使用することはできませんが、デスクトップの電話機が複数回線をサポートする場合は、別の回線を使用してコールの発信および受信が可能です。
進行中のコールを携帯電話からデスクトップの電話機に切り替える	<ol style="list-style-type: none"> 1. 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないで済みます。 2. デスクトップの電話機で4秒以内に [復帰] を押し、デスクトップの電話機で通話を開始します。





複数のコールの表示

複数のコールが電話機でどのように表示されるかを理解することで、コール処理作業を整理しやすくなります。

標準表示モードでは、強調表示された回線のコールが電話機で次のように表示されます。




- 優先順位が最も高く、通話時間の最も長いコールがリストの先頭に表示されます。
- 同じタイプのコールは、まとめて表示されます。たとえば、通話したコールは先頭付近に、保留中のコールは末尾にまとめて表示されます。

次の追加メソッドを使用して、複数の回線で複数のコールを表示することができます。

目的	操作または状態の説明
別の回線のコールを表示する	<ol style="list-style-type: none">1. を押します。2. すぐに回線ボタンを押します。
コールの概要モードに切り替える	<p>強調表示された回線のを押します。</p> <p>電話機はコールの概要モードに切り替えられ、回線ごとに1つだけのコールが表示されます。表示されるコールは、アクティブなコールまたは最も長い時間保留されているコールです。</p> <p>標準の表示モードに戻るには、を押してから、すぐに回線ボタンを押します。</p>

コールの転送

接続コールは転送によってリダイレクトされます。転送先は、コールの転送先となる電話番号です。

目的	操作または状態の説明
転送先の相手と会話せずにコールを転送する	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブなコールで [転送] を押します。 2. 転送先の電話番号を入力します。 3. [転送] をもう一度押して転送を完了するか、[終了] を押してキャンセルします。 <p> (注) 電話機でオンフック転送が有効になっている場合、ヘッドセットを置くことによって転送を完了してください。</p>
転送先の相手と会話してからコールを転送する（打診転送）	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブなコールで [転送] を押します。 2. 転送先の電話番号を入力します。 3. 相手が応答するのを待ちます。 4. [転送] をもう一度押して転送を完了するか、[終了] を押してキャンセルします。 <p> (注) 電話機でオンフック転送が有効になっている場合、ヘッドセットを置くことによって転送を完了してください。</p>
通信を継続せずに、2つの現在のコールを相互に転送する（直接転送、SCCP 電話機のみ）	<ol style="list-style-type: none"> 1. スクロールして、回線上の任意のコールを強調表示します。 2. [選択] を押します。 3. 2番目のコールに対しても同じ処理を行います。 4. 選択したコールの1つが強調表示されている状態で [D 転送] を押します（必要に応じて [次へ] を押して、[D 転送] を表示します）。 <p>2つのコールが相互に接続され、自分のコールは終了されます。</p> <p> (注) 発信者との通信を継続する場合は、代わりに [参加] を使用します。</p>
ボイス メッセージ システムにコールをリダイレクトする	[即転送] を押します。詳細については、 P.30の「ボイス メッセージ システムへのコールの送信」 を参照してください。

ヒント

- オンフック転送が電話機で有効になっている場合は、切断してコールを完了することも、**[転送]**を押してから切断することもできます。
- オンフック転送が電話機で有効になっていない場合は、**[転送]**をもう一度押さずに切断すると、コールが保留状態になります。
- **[転送]**を使用して保留状態のコールをリダイレクトすることはできません。転送前にコールの保留を解除するには、**[復帰]**を押します。

ボイス メッセージ システムへのコールの送信

[即転送]を使用して、アクティブ、呼出中、または保留中のコールを自分のボイス メッセージ システムに送信できます。コールのタイプと電話機の設定によっては、**[即転送]**を使用して通話相手のボイス メッセージ システムにコールを送信することもできます。

- コールが最初から自分以外の誰かの電話機に送信されていた場合は、**[即転送]**でそのコールを自分のボイス メッセージ システムまたは本来のコール先のボイス メッセージ システムのどちらかにリダイレクトすることができます。このオプションは、システム管理者が使用可能にしておく必要があります。
- コールが直接送信された（転送されたのではない）場合、または使用している電話機が上記のオプションをサポートしていない場合、**[即転送]**を使用するとコールはその電話機ユーザのボイス メッセージ システムにリダイレクトされます。



目的	操作または状態の説明
アクティブ、呼出中、または保留中のコールをボイス メッセージ システムに送信する	[即転送] を押します。次のどちらかになります。 <ul style="list-style-type: none">• コールが自分のボイス メッセージ システムに転送されます。• 電話機のスクリーンに、自分のボイス メッセージ システムと本来のコール先のボイス メッセージ システムを選択できるメニューが表示されます。オプションを選択して、コールをリダイレクトします。

ヒント

電話機にメニューが表示され、選択前にメニューが非表示になっても、**[即転送]**をもう一度押すと、メニューが再表示されます。システム管理者に、タイムアウト値を現在より長く設定するように依頼することもできます。

別の電話番号へのすべてのコールの転送

[不在] 機能を使用すると、自分の電話機にかかってくる着信コールを別の電話番号にリダイレクトできます。

目的	操作または状態の説明
プライマリ回線のコール転送を設定する	[不在] ソフトキーまたは [不在転送] ボタンを押し、転送先の電話番号を入力します。
プライマリ回線のコール転送をキャンセルする	[不在] ソフトキーまたは [不在転送] ボタンを押します。
プライマリ回線のコール転送が有効になっているかどうかを確認する	次のことを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> プライマリの電話番号の上にコール転送アイコン  が表示されている。 ステータス行にコール転送の転送先番号が表示されている。
リモートまたはプライマリ回線以外でコール転送を設定またはキャンセルする	<ol style="list-style-type: none"> ユーザ オプション Web ページにログインします (P.71 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。 コール転送の設定にアクセスします (P.78 の「Web での回線の設定の制御」を参照してください)。 <p> (注) コール転送がプライマリ回線以外で有効になっている場合、電話機にはコール転送の状態が表示されません。その代替りとして、ユーザ オプション Web ページで設定を確認する必要があります。</p>

ヒント


- コール転送の転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。たとえば、必要に応じてアクセスコードや地域コードをダイヤルします。
- 従来のアナログ電話機、または他の IP Phone にコールを転送することはできませんが、システム管理者がコール転送機能を社内の番号に制限している場合があります。
- コール転送は、電話回線固有です。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、転送されたコールを受信した人物から転送者への連絡を可能にする、コール転送オーバーライド機能を有効にできます。このオーバーライドが有効になると、転送先から転送者の電話に発信されたコールは転送されず、呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、電話回線のコール転送条件を変更できます。

サイレントの使用

サイレントを使用して、着信コールの呼出音が鳴らないようにできます。システム管理者がユーザの電話機のサイレントを有効にできます。

電話機で [サイレント] と [不在] の両方が有効になっている場合は、コールは転送され、発信者にはビジー音が聞こえません。

インターコム回線の場合は、サイレントがアクティブでも呼出音が鳴ります。

目的	操作または状態の説明
サイレントをオンにする	[サイレント] ソフトキーまたは [サイレント] ボタンを押します。 電話機に「サイレント」と表示され、サイレントを示す  が点灯し、呼出音がオフになります。
サイレントをオフにする	[サイレント] ソフトキーまたは [サイレント] ボタンを押します。
サイレントの設定をカスタマイズする	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページにログインします P.71 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」 を参照してください。2. ドロップダウン メニューから [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。3. 次のオプションを設定します。<ul style="list-style-type: none">• [サイレント]: サイレントを有効または無効に設定します。• [DND 着信呼警告]: 警告をビープ音のみまたは点滅のみにするか、すべての表示を無効にして音声による警告通知に設定します。

会議コールの使用方法

Cisco Unified IP Phone では、1 台の電話機の会話に 3 つ以上のコールを結合して、会議コールを作成できます。

会議コールのタイプについて

会議コールには、標準の（アドホック）会議と Meet-Me 会議の 2 種類があります。

標準の会議コール

標準の会議は、必要に応じて、また電話機で使用できるソフトキーやプログラマブル ボタンに応じて、次に示す方法で開催できます。

- [会議] ソフトキーまたは [会議] ボタン：このソフトキーまたはプログラマブル ボタンは、参加者それぞれがコールをかけることによって、標準の会議を開催するときに使用します。標準の会議コールは、ほとんどの電話機で利用可能なデフォルトの機能です。
- [参加]：このソフトキーは、すでに 1 つの回線にある複数のコールに参加することによって、標準の会議を開催するときに使用します (SCCP 電話機のみ)
- [C 割込]：このソフトキーは、共有回線の既存のコールに自分を追加して、そのコールを標準の会議コールに切り替えるときに使用します。この機能は、共有回線を使用する電話機でのみ使用できます。

手順の詳細については、[P.34](#) の「標準の会議の開催と参加」を参照してください。



Meet-Me 会議コール





Meet-Me 会議は、指定の時間に Meet-Me 電話番号をダイヤルすることによって作成できます。

手順の詳細については、[P.36](#) の「Meet-Me 会議コールの開催または参加」を参照してください。


標準の会議の開催と参加

標準の（アドホック）会議では、1つのコールに3名以上が参加できます。

目的	操作または状態の説明
<ul style="list-style-type: none"> 参加者にコールを発信して会議を開催する 既存の会議に新規参加者を追加する 	<ol style="list-style-type: none"> 接続コールで [会議] ソフトキーまたは [会議] ボタンを押します（必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[会議] ソフトキーを表示します）。 参加者の電話番号を入力します。 コールが接続されるのを待ちます。 参加者をコールへ追加するには、[会議] ソフトキーまたは [会議] ボタンをもう一度押します。 この手順を繰り返して、参加者を追加していきます。 <p>会議の開催者でなくても参加者を追加または削除できるかどうか、システム管理者に確認してください。</p>
<p>2 つ以上の既存のコールを参加させて会議を開催する (SCCP 電話機のみ)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 単一の回線に 2 つ以上のコールがあることを確認します。 会議に追加するコールを強調表示します。 [選択] を押します。 選択したコールにアイコン  が表示されます。 追加するコールごとにこのプロセスを繰り返します。 選択したコールのいずれかで、[参加] を押します（必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[参加] を表示します）。 <p> (注) アクティブなコールが自動的に選択されます。</p>
<p>会議に参加する</p>	<p>呼出音が鳴ったら電話機に応答します。</p>
<p>共有回線のコールに割り込んで会議を開催する</p>	<p>共有回線でコールを強調表示し、[C 割込] を押します（必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[C 割込] を表示します）。</p> <p>P.44 の「共有回線の使用」 を参照してください。</p>
<p>会議の参加者のリストを表示する</p>	<ol style="list-style-type: none"> アクティブな会議を強調表示します。 [参加者] ソフトキーまたは [会議リスト] ボタンを押します。 <p>会議に参加した順序に従って、参加者がリストに表示されます。最後に追加された参加者がリストの先頭になります。</p>
<p>会議の参加者のリストを更新する</p>	<p>会議の参加者のリストを表示している状態で、[更新] を押します。</p>



目的	操作または状態の説明
会議の開催者を確認する	会議のリストを表示している状態で、リストの末尾までスクロールして、会議の開催者（名前の横にアスタリスク（*）の付いた人物）を検索します。
会議の任意の参加者を削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会議の参加者のリストを表示している状態で、参加者の名前を強調表示します。 2. [削除] を押します。
会議に最後に追加された参加者を削除する	会議の参加者のリストを表示している状態で、 [ドロップ] ソフトキーまたは [最後の参加者の削除] ボタンを押します。
標準の会議への参加を終了する	切断するか、または [終了] を押します。
同じ回線で 2 つの標準の会議に参加する	<p>SCCP 電話機で、[参加] ソフトキーまたは [D 転送] ソフトキーを使用します。</p> <p>SIP 電話機では、[会議] ソフトキーまたは [転送] ソフトキーを使用します。</p> <p>この機能が使用可能になっているかどうかをシステム管理者に確認します。</p>
会議コールのセキュリティを確認する	「会議」アイコンの次に  または  のアイコンが表示されているか電話機のスクリーンで確認します。
セキュリティ保護されていない参加者を会議から削除する	<p>会議リストを表示している状態で、 または  のアイコンがない参加者を特定し、[削除] を押します。</p> <p>会議の開催者でなくても参加者を削除できるかどうか、システム管理者に確認してください。</p>

ヒント

- 安全な会議を開催するには、セキュリティが設定されている電話機を使用する必要があります。
- セキュリティ保護されていない会議と参加者には、 アイコンが表示されます。
- コールを会議に追加するには、それらのコールが同じ回線にある必要があります。コールが異なる回線にある場合は、**[会議]** ソフトキー、**[会議]** ボタンまたは **[参加]** ソフトキーを使用する前に、それらのコールを 1 つの回線に転送します（**[参加]** ソフトキーを使用できるのは SCCP 電話機のみ）。
- 電話機の設定内容によっては、会議を開始した後で切断すると、その会議が終了する場合があります。これを避けるには、会議を転送してから切断します。

Meet-Me 会議コールの開催または参加

Meet-Me 会議を使用すると、会議番号をコールすることによって会議を開催または会議に参加することができます。

目的	操作または状態の説明
Meet-Me 会議を開催する	<ol style="list-style-type: none">1. システム管理者から Meet-Me 電話番号を取得します。2. 番号を参加者に配布します。3. 会議を開始する準備ができれば、オフフックにして、ダイヤル トーンが聞こえてから [ミーティング] を押します。4. Meet-Me 会議番号をダイヤルします。 参加者は、ダイヤルすることによって会議に参加できます。 <p> (注) 開催者が参加する前に参加者が会議にコールを発信すると、ビジー音が聞こえます。その場合、参加者はコールを再発信する必要があります。</p>
Meet-Me 会議に参加する	<p>会議の開催者から提供された Meet-Me 会議番号をダイヤルします。</p> <p> (注) 開催者が参加する前に会議にコールを発信すると、ビジー音が聞こえます。その場合は、コールを再発信します。</p>
Meet-Me 会議を終了する	<p>すべての参加者が切断する必要があります。</p> <p>会議の開催者が切断しても、会議は自動的に終了しません。</p>

ヒント

セキュリティ保護されていない電話機からセキュアな Meet-Me 会議番号にコールすると、ユーザの電話機には「認証されていないデバイス」というメッセージが表示されます。詳細については、[P.48 の「安全なコールの送受信」](#)を参照してください。

インターコム コールの発信と着信

ミュートをアクティブにしたスピーカフォン モードでコールに自動応答する通話先の電話にインターコム コールを発信できます。一方向のインターコム コールでは、通話相手に短いメッセージを配信できます。通話相手のハンドセットまたはヘッドセットが使用中の場合、使用中のデバイスに音声が発信されます。ユーザの通話相手が現在実行中のすべてのコール アクティビティは同時に継続されます。

通話相手はインターコムのアラート トーンを受信し、次のいずれかを選択します。




- 発信者の通話をマイクロフォンで聞く（発信者の声は聞こえるが相手はユーザの声が聞こえない）。
- **[終了]** ソフトキーを押してインターコムを終了する。メッセージを聞かない場合はこの方法を選択します。
- アクティブのインターコム ボタンを押し、ハンドセット、ヘッドセット、スピーカのいずれかを使用して発信者と会話する。インターコム コールは双方向の接続になるため、発信者と対話できます。

インターコム機能を使用する場合は、次の点に注意してください。

- 1つのインターコム回線からは、他のインターコム回線にのみダイヤルが可能。
- 一度に1つのインターコム回線のみ使用が可能。
- あるインターコム回線がアクティブの間に別のインターコムに応答すると、最初のインターコムコールは終了する。
- アクティブなコールの監視中または記録中は、インターコム コールの受信と発信はできない。



(注) Cisco エクステンション モビリティはインターコム回線をサポートしていません。

目的	操作または状態の説明
事前定義したインターコムの通話相手にインターコム コールを発信する	 (インターコムの通話相手の回線) を押し、インターコムのアラート トーンが聞こえてから話し始めます。
任意のインターコム番号にインターコム コールを発信する	 (インターコム回線) を押します。インターコムの通話相手の番号または相手の短縮ダイヤル番号を入力します。インターコムのアラート トーンが聞こえてから話し始めます。
インターコム コールを受信する	インターコムのアラート トーンが聞こえたら、次のいずれかの方法でコールを処理します。 <ul style="list-style-type: none"> • 一方向のオーディオのメッセージを聞く。 •  (アクティブなインターコム回線) を押して発信者と会話する。 • [終了] を押す。